

第2回 将来の公共施設のあり方を考える市民対話<横尾・滑石・岩屋地区>

【アンケート結果/回答者 34 人】

No.	項目	ご意見・ご感想
1	対話の進め方について	<ul style="list-style-type: none"> ● メンバーは固定せず、3回目はメンバーチェンジすべき。
2	グループ協議について	<ul style="list-style-type: none"> ● 主題からはずれた意見・発表が多かったように思う。 ● 滑石、横尾地域の方が多く、みなさん話がよく通じますが、私は施設の事もどこにあるのかわからず、話には入れない。 ● 討議の時間が足りない。 ● 欠席者が多く、人数が少なかったため、その分一人ひとりの発言回数が多くなったと思う。センターの現状を知っている方がグループにいたのでスムーズに話が進んだ。
3	施設について	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の建物（ふれあいセンター・学校等）地域の特性があるのでまとめるのが難しい。 ● 西北校区にはお店もなく、広場もない。坂や階段が多く高齢者にはだんだん暮らしにくくなっていると思う。家の近くに他の人と集まれる小規模スペースでもあればいいと思う。
4	対話全体について	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな方の意見を聞くことができ、地域のことがよくわかるようになった。アドバイザーの方のコメントがわかりやすかった。 ● 焦点が絞られており、何のための対話なのかわからない。 ● ワークショップはグループ重複するので時間の無駄。 ● 道路拡張、川の移動についての話し合い、各学校区ごとのしゃべろう会など、意見を聞いたり話す機会は多くなったように思うが、それぞれの話が別々で、トータル的、全体的なものとして話ができていると感じる。役所でも横のつながりを重視し、地域全体として話ができたらと思う。個々の話ばかりだと夢を語って終わりになりそう。
5	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 県と市の土地建物を考え長期のまちづくり計画が必要。 ● 今後もこの件について推進願いたい。